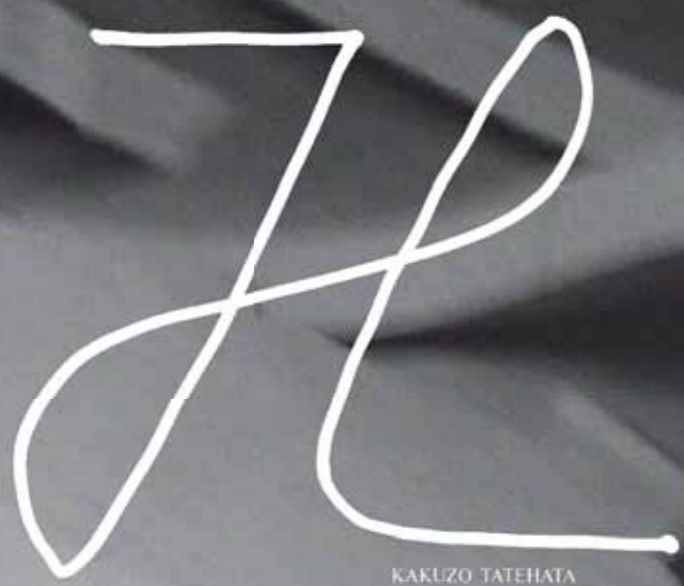


日本抽象彫刻のパイオニア

建畠覚造 作品展

ロングスパン展示



KAKUZO TATEHATA

建畠覚造 略歴

1919年東京生まれ。彫刻家・建畠大夢の長男で、1941年に東京美術学校（現・東京藝術大学）彫刻科を卒業し日本美術展覧会に出展、特選を受賞するなど若い時期から期待された。1953年から55年までフランスに留学。サロン・ド・メなど多くの展覧会に参加し、評価を得て帰国。1950年代より日本の抽象彫刻のパイオニアとして活躍。1966年から多摩美術大学彫刻科教授として後進を指導した。高村光太郎賞、中原悌二郎賞、長野市野外彫刻賞、ヘンリー・ムーア大賞展優秀賞、芸術選奨文部大臣賞、文化功労者顕彰など受賞多数。2006年死去。

水のギャラリーにて複数の作品をロングスパン展示



STONE PLAZA
那須芦野・石の美術館